



出席者

唐沢 稔・長岡秀子・柳橋早智子  
山浦いく子・小山定雄・丸山光夫  
小泉芳子・川上貞子（敬称略）



# なぜ、今生涯学習か

人生80年時代をむかえ、生涯学習の必要性が叫ばれています。町内それぞれのお立場の皆さんにお願いして生涯学習について語り合っていました。

## 豊かな心を育てる

### 生涯学習に期待されるもの

司会 きょうは、日頃、地域でそれぞれのお立場で地道な活躍をされておいでの皆さんにお集まりいただき、なぜ、今生涯学習か」と題してご意見やお考え、いろいろな情報を提供していただきたいと思っています。

まず最初に生涯学習とはどんなことなのか、といったあたりから、お話を伺いたいと思います。

唐沢 生涯学習とは、字の如く一学生んでいく学習だが、学習のための学習は消費の文化になり易い。私は生産活動につながる学習でありたいと常々思っています。

小泉 総括的にいって、社会教育に学校教育を含めたものだと思います。そして人にいわれてやるものでなくて、みずからやりやすい方法で生涯に渡って継続していく事ではないでしょうか。

柳橋 常日頃、生涯学習ということは頭の中になかった。でも最近少しづつゆとりが出てきて町の文化クラブに参加してみましたらとても楽しくて、又出て見ようという気持ちになります。これを生涯学習につなげたいと思います。

長岡 私はせまい意味に解釈していて、いろいろな講座に参加して趣味的なことを行うことだと思っていました。今一生を通じての学びであることがよくわかりました。

学校教育も生涯学習に入るといってお話

を伺って自分も、今教える立場であり一生勉強を続けねばと思いました。

山浦 私は四十歳頃より余裕ができてきたので詩吟に頭を突っ込みました。詩吟を通して仲間との交流、学びがとても楽しく大切になってきました。その中で我慢の心や、人間が出来てきたように思います。

司会 丸山さん、文化協会長さんのお立場でいかがでしょうか。

丸山 各地域のそれぞれのお立場の皆さんにお集りいただき生涯学習について、考えていただけ有りがたく思います。今、文化協会は千七百名の会員で百九十九講座を開講し皆さんのご希望に添うべくつとめておるところです。

この人達が教わったものを自分のものにして地域の人に伝えて底辺を広げて頂きたいと思っています。

## 地域とのかかわりの中で

司会 今、皆さんは生涯にわたっての学びや張り合い、生きがいをいつの間にか隣り近所に伝えたいものをお持ちでしょうか。

唐沢 私は百姓として自分や家族の健康を願うと地域のために役に立ちたいと願って無農薬農業に取り組んでいます。農産物直売所を自宅の車庫に設けて販売も始めました。

地道な生きがいがこれが一生のテーマかな……と張り合いを持って頑張っています。

# 座談会



味しい物を作って上げたいと思って頑張っています。

**山浦** 私は一つの事を集中して詩吟を二十一年、三味線を八年と続けてきました。今はそのよさが分かり、おすそわけ学習に頑張っています。お友達もふくらみ幸せを感じながら共に学んでいます。

## 大切な 人との触れ合い

**司会** とかく文化活動は、町の中央公民館に集中しがちですが、生涯学習として私たちは自宅や隣り近所の身近で何ができるでしょうか。

**長岡** 私は仕事が小諸市で東部町の主催する講座には参加できませんでした。

勤めるといふ事は、朝早く家を出て遅く家に帰る。夜は夜で家事と育児で終わっていく。でも、ダメネーと思ってしまわないで、時間はつくるものだと今、思っています。

**小山** お勤めの人の生涯学習への参加の方にはいろいろあります。長岡さんのように小さな子どもを持ちながら勤めを持っている人は、地域の自分と同じ子育てで真っ最中の若いお母さんたちと、子育てのコミュニケーションをする、仲間づ

くりをする、これが学習です。無理しないで其の時期に合った学習を自然にしておくことが、又、生涯の学習の仲間づくりにへの基礎になっていきます。

**長岡** そういえば夜、若いお母さん方が集まって分館で編物や、発表会を持ったことがあります。先程、いつでも、どこでもというお話がありました。が手近で学べる事はありがたいですね。そんなとき、音頭取りがいてくれたらなァ...と思います。

**小泉** これからの生涯学習は、町の中央公民館集中型でなくておおいに地区館、分館を活用できるように条件整備をしていくことが大事だと思います。それには、やはり中央で学ばれた事を地域に降ろしていく、おすそわけ学習が是非欲しいですね。教えたり教わったり、の大切さを感じます。

## 生涯学習への要望

**司会** 最後になりましたが、町の文化協会や公民館、社会教育係にお願いしたいことや要望がありましたらどうぞ。

**小泉** これからの時代は、女性の社会進出で育児は夫婦の共同作業になると思います。そんなとき抵抗なくサポート出来るように父親講座が欲しいですし、又高齢化時代を迎え、女性は三度の老後を迎えるといわれます。ボケや、寝たきり長寿が人ごとでなくなってきました。そんな中で介護講座等も考えて欲しいと思います。

**長岡** 私の家に一枚の可愛らしいはがきが

舞い込んできました。「家庭教育通信学級」というお便りです。とても勉強になり、参考になりますので是非、続けてください。

**唐沢** せっかくできた文化会館、催し物を提供するだけでなく、子供たちにも積極的に公開提供して欲しい。そしてこの東部町からも素晴らしい作曲家でも育つ事を夢見ております。

人間は気楽になってはだめ。重荷を背負っていたほうがボケ防止になるのでは...

**丸山** 小さな趣味でもいいから地区館を、どんどん活用していけるようにして頂きたい。

勤めているうちから、身近に出来るものを考えて、焦らずにじっくりと継続して生涯学習につなげて欲しいと思います。

**司会** それでは、小山先生、まとめをお願いします。

**小山** 生涯学習とは、心のたしになる文化、ふれ合いの文化づくりであります。

それは

- ①人間らしさを獲得する学習であり、
- ②生産につながる学習であり、
- ③生活設計をしていく学習であり、
- ④地域作りの学習であります。

**司会** 皆さん貴重なご意見ありがとうございました。東部町の生涯学習がゆとりのある特定の人達のためのものではなく、住民一人ひとりの張り合いにつながる実感できるものであることをめざして力を合せて行きたいと思えます。きょうはどうもありがとうございました。

**小泉** 生きがいとは何か？ あんまり肩肘を張って構えるものではなくて、大福作りの得意な母、おそばの味作りに懸命な知人、この人達はそれが自分のものになっていきます。誰にも負けないというもの、自信のもてるもの、そういうものを近所で出しあう事ではないでしょうか。私も民謡を友として十一年を迎え味が分かるようになりました。

**柳橋** 分かりました。遠くにあるものを求めるのではなくて身近にあるものでいいんです。私も仕事の合間に息を入れて一休みするために何かやってみたくて思っています。おばあちゃんのために美

# 特集 文化会館

東部町の誇る芸術・文化の拠点、文化会館がオープンして半年がたちました。そこで、名実ともに充実した文化会館になることを期待して、かげで支える担当スタッフの苦労話や町民の皆さんの舞台観賞を通しての感想やご意見を伺ってみました。

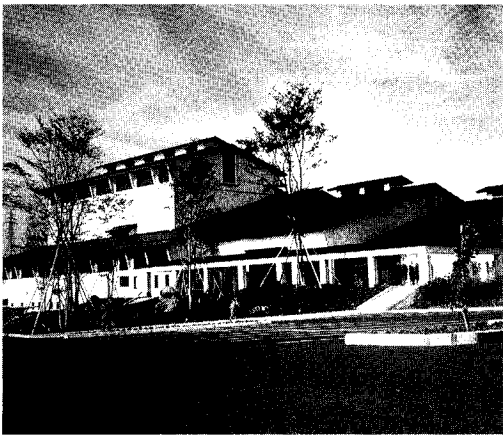
東部町文化会館係長

後藤 菊夫

早いもので、昨年の十月に文化会館勤務の辞令をいただいてから、一年が経過してしまいました。

この間、文化協会の皆様には、いろいろな面でご支援やご協力をいただきましたこと、心から感謝を申し上げます。おかげ様で今のところは太過なく、皆様とおつきあいをさせていただいております。

しかしながら、太過なくという言葉は非



常に良く聞こえる訳ですが、もしどなたかに改めて「あなたは今まで地域の文化振興に、又町を文化的にするために、どれだけ仕事をしましたか」と問われたとしたら個人的には非常にづらいものがあります。

現在、文化会館には私以下三名の職員がおりますが、はっきり言って文化という言葉にふさわしい者の集まりとはいえないところがあります。

しかし、文化という言葉は非常に幅広いものがありますので、他の三名には失礼になりますから、特に私は訂正しておきます。

昨年まで文化的行事・催しには、積極的に参加することのなかった私ですが、オープンから今日まで、いろいろな催しに接し見たり聞いたりするなかで、クラシックにしる、演劇にしる、何か胸に感じるものがありました。

なぜか同じものを他の人にも、見てもらいたい、聞いていただきたいな、と思うようになってきたので、自分なりにすこしは進歩したのかな、と思ったりする今日この頃であります。まだまだ運営上不備な点等沢山ありますが、職員一同誠心誠意努力いたしますので、ご支援をお願い致します。



平成三年三月三日、文化会館は華々しくオープンしました。たくさんの皆様から「町に文化の殿堂が完成した」又「文化活動の拠点ができた」と喜んでいただいておりますが、実際はどうでしょうか。

ホールは、会館の月一度の自主事業をはじめ、ピアノ発表会、音楽会、企業等の行事で使用され、その利用度が多彩ですが、会館内には他にも、リハーサル・練習室・会議室等が併設されています。これらは協会の皆様をはじめ、町民一人一人の文化活動の場でもあります。又館内には展示室があります。この場所は町民であれば、どなたでも無料で使用できます。日頃の活動の成果を発表する場としてはいかがでしょうか。文化会館は、時折り催される芸術鑑賞だけの場ではなく、皆様のスペースです。

喫茶『幻彩夢』もご利用ください！

文化会館の南玄関を入っていただきますと、右手に喫茶『幻彩夢』があります。

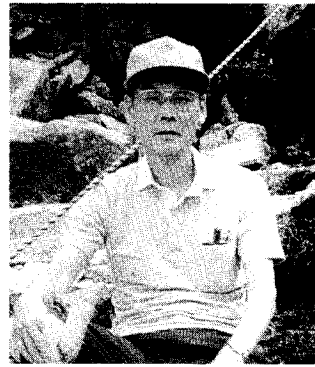
館内に喫茶室が計画されたのは、会館を訪れるお客様が利用される皆様の憩いの場として、あるいは語らいの場として、多くの皆様にくつろいでいただくという趣旨で、設置された場所です。

当初は、テナントを予定していましたが現在の利用状況の中では、営業としての経営には無理があるとして、現在町が直営で開業しております。

よって、今のところホールに催し物がある時と、事前に要望があれば開店するようになっていますので、気軽にご利用いただきたいと思っております。店名は「げんさいむ」と読みます。これはホールの緞帳の名前からとりました。ご利用をお待ちしています。



# 文化会館を利用して



加 沢 小田中 一 男

文化会館がオープンして七ヶ月、この間に音楽・映画・劇・落語・展示などいろいろな催しが行われた。施設は事業費から考えて最高のはずだと自分なりに納得した。以下は観賞したものの感想である。

「文化会館祝祭町民合唱演奏会」―家内も参加、自らの手づくりで全員参加型、「土の歌」作曲者の指導・指揮で芸大のオーケストラ付きと最高のセッティング、良くこれだけの企画ができたものと感嘆。

「川中美幸歌謡ショー」―数少ないカラオケの持ち歌が彼女の歌という個人的理由もあり楽しめた。中国との交流の話、彼女の婚約・結婚と話題的にも良いタイミング。「永井和子リサイタル」―歌はもちろん、おしゃべりが魅力的で光っていた。いずれもテレビでは得られない観客とのふれ合いといったものがあり、この金銭には替えられない精神的満足が文化といえるのではないかと思う。

我々町民としても与えられるだけでなく、積極的に活動にかかわっていければ中味もすばらしい文化会館になると思う。

緑の自然の林が、海野宿をイメージした和風の建築、素晴らしい芸術文化の殿堂となつて三月にオープンして以来、一流演奏家によるクラシック音楽の鑑賞や、町民合唱「上のうた」発表をはじめとして、コーラスで活動している私にとってステージに立つ機会にも恵まれました。特にクラシックを基調にした音響効果につくられたホールだけあって、音の響きが大変良く、気分良くなりたうことができましたし、又他の合唱団の声も響きがよく、とても上手に聴こえました。海野格子の壁に木のぬくもりを感じ、すばらしいホールに感動しました。観客にはホワイエが広々としていて眺望もみごと、又出演者にとつても、楽屋に通じる廊下が広くゆとりのある利用し易い建物だと思えます。来年文化会館ではじめての発表会にむけて、東部混声団の練習がはじまりました。頑張つてすばらしい演奏を多勢の人に聴いていただけますように、一生懸命練習に励みたいと思います。



県 高木 友子

Summer time at the town is easy……と歌い、雨上がりの夜空に、美しい花火を見ながら東部町文化会館を後に上田へ。素晴らしい会館ですね。駐車場の使い易さ、ホールの大きさ、音響、照明、全て納得です。しかし、何と言つても主役は、ロビーですね。一步を踏み入れた時の印象は、ホール内の観賞評価を、相当上下させると聞きますが、その通りでした。もちろん、永井さんの歌とおしゃべり、キューートな小谷さんのピアノに魅せられました。隣に主人。今夜は最高？

私達一家にとつて東部町は、恩師、白石みさよ、川上貞子、星合征臣諸先生の町。美味しいブドウを貰える町。ラーメン屋さんが多い町。格式高く、偉い人ばかりで頭が堅そうな町でしたが、少々違っていました。文化会館に注がれた町民の勇氣・団結力・底力は、頭が堅くては湧き出ません。不思議な魅力のある町です。目に見える建物だけでなく、東部町民の底力は、素晴らしい財産だなあ、と強く感じた一夜でした。



上田市 宮 島 俊 子

## 特集を終えて

秋のある日、編集委員三人で文化会館を訪問しました。玄関からホールにかけてのゆったりとした空間を清掃担当者が黙々ときれいにしていました。「あーこんなにも心を配って隅々まできれいにして利用者を待っている文化会館」と胸があつくなりました。しかし、中はひっそりと静かで誇り高き空間が広がっているばかりです。



「町民は無料の中央公民館に慣れてしま

い、お金を払って会議室やホールを有効利用することに抵抗があるようです。利用者の皆さんの意識改革が大事です。」と係長さんがおっしゃいました。その通りと思いました。

もっと身近かで実感できる文化会館にするために催し物を鑑賞するだけでなく、自らやグループの能力、観客動員の多少にこだわらないで、町民が使いながら実感しながら共に育っていく心意気で文化会館を生かしていかなければと痛感しました。

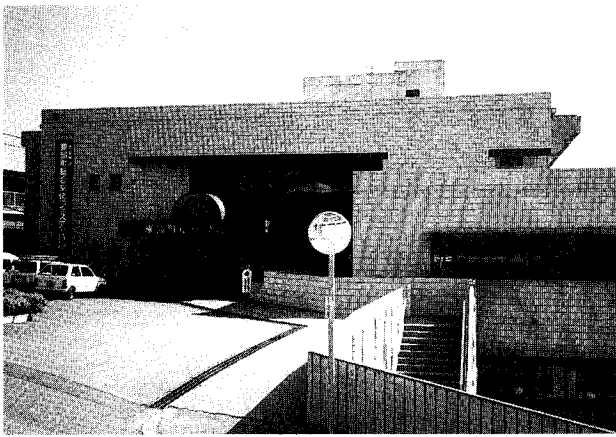
# 中央公民館と分館

中央公民館長 関 亀 一

町の公民館には、中央公民館のほか、四つの地区公民館、四十三の分館があるが、いずれも町の条例によって設置されている。

このうち、地域住民に最も密接に関係するのは分館であるが、「分館」といっても、決して中央公民館・地区公民館につながる機関としてだけでなく、「区公民館」として、対等な独立した教育機関である。

公民館は発足以来、住民のつどいの場・学習の場として、地域の民主的な発展に大きく寄与してきた。近年は加えて、社会の急激な変化による「生涯学習社会」の実現



が重要課題になるにともない、公民館は、その中核として、その役割の重要性がいよいよ高まっている。

中央公民館では、町民が望み、必要とする広範な学習課題に心えるべく、できる限りの事業を企画し、展開するとともに、町民が気軽に利用できるよう配慮してきた。現在、中央公民館の利用者数は、年間延五万名を超えている。(この中で、文化協会加盟団体の利用が最も多い。)

これは、町民の旺盛な学習意欲を示すものとして、御同慶の至りであるが、加えて注目すべきことは、各区公民館を中心とした学習活動である。

ちなみに、戸数、百数十戸のA区の場合をあげる。この区の公民館主催事業は八つ、その参加者八百二十名。公民館以外の区の機関・団体主催事業は十一、参加者四百六十名。区民の自主的、自発的なクラブ数十八、加入者百五十八名、各クラブの活動延回数三百七十二、その活動参加延人数は三千三百七十余名である。この区の場合、年間延にして四千六百余名が、自ら望み、必要とする学習活動に参加した事になる。

このような、身近な区における学習活動は、生涯学習の出発点であり、町全体の生涯学習の基盤になるものである。それだけに、A区のみならずすべての公民館で、かかる学習機会の提供が、円滑かつ豊富にされることを望んでやまない。

## 分館活動の紹介

### 海善寺分館



講演会は、毎年二月に開いています。講師は、四年前から武石村診療所長の矢島嶺先生にお願いして、成人病についてのお話を聞いています。矢島先生のお話は、ユーモアたっぷり、まるで漫談のようにおもしろく、お腹が痛くなるほど、笑わせてくれます。「聞くだけで健康になれる」と、大好評です。来年のお話も今から楽しみにします。

芸能発表会と総合展覧会は、毎年三月の

### 桜井分館

平成三年度の分館活動も区民の協力をいただき計画通りに前半を経過することができました。分館の執行部体制は正副分館長と文化、体育部の主任が各一名と会計係の計五名です。他の分館と比較しますと少数のスタッフと思いますが、執行部が結束して進めてまいりました前半の主な活動の概要を紹介させていただきます。

四月二十八日 区民運動会。滋野小学校校庭に於いて、好天に恵まれ、二百五十、三百人の区民が参加し盛大に行なわれる。

七月二十一日 地区分館球技大会。町民広場に於いて、野球は健闘の結果準優勝する。

八月三日 雷電まつり。桜井区連百名で参加、特別賞を受ける。

八月十二、十三、十四日 盆踊り。多彩なイベントを行い、大勢の人達で賑わう。

後半に入って十月二十六日から三日間、老友会の菊花展に併せ総合展覧会を催すための準備段階です。



同じ日に開いています。今年も大勢の方の協力をいただき、盛大に行うことができました。一階には、すばらしいできばえの書、絵、写真、生花、手芸品などが、所狭しと並べられました。二階では、大正琴、詩吟、民謡、踊りなどの各クラブが、一年の活動の成果を披露しました。ご招待したお年寄りの皆さんにも、楽しいくつろぎのひとつときではなかったかと思えます。

# グループ紹介



千祥会三味線部 内山波江

私達千祥会「民謡」三味線部は、誕生して十年になります。年々会員が増え、現在では男女合わせて四十八名になりました。千月流師範「小沢千祥先生」にご指導頂き、月二回、八つのグループに分れて練習しています。先生は温和でユーモアに富み、教室の中はいつも和気あいあいとして、楽しく勉強しています。

年一回全員でおさらい会をします。合奏や一人ずつ伴奏をしますが、なかなか思う様にはいかず失敗もあります。そんな時はみんなで励まし合って、気楽に肩のこらないおさらい会になります。終了後は反省会を兼ね、懇親会を開いて会員相互の親睦を深めています。

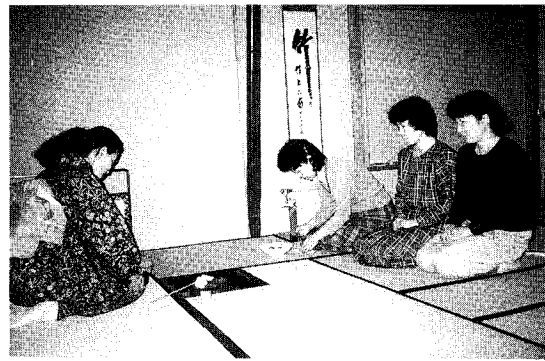
また昨年からは東部町音楽祭にも参加させて頂いておりませんが、いつの日か聞く人の心にひびく様な演奏ができればと、頑張っております。

町内には、文化活動をしているグループは百九十グループあります。各グループそれぞれ積極的に活動しています。あなたも何か趣味を持ってエンジョイしてみませんか。グループについての問い合わせは、文化協会事務局へ（電話六二一一一内線五二五、有線二〇七一一）

装いの会では、着物の着付の学習をしています。中央公民館で月二回夜行っています。着物を一人で着たことのない若い人から、着物だけはなんとか着られるが帯が結べない年輩の人と様々です。下着の選び方、着物の基礎知識、着物の着方、帯の結び方を学んでいます。着物は正しいプロセスを学ぶことによって、一人で簡単に苦しくなく鏡をみないで着られる方法を習得しています。着物の着装を通して、礼儀作法も身につけております。周用に優しく行き届く愛の心、自らの心を美しく高める美の心、尊敬と感謝する礼の心、周開と調和する和の心、これらを着物の着装を通して共に学び、自己研鑽に心掛け美しい人生を歩くようにしています。和の心を中心に思いやりを大切に生涯学習に励んでおります。



装いの会 今井雪子



泉会第二部 丸山知恵子

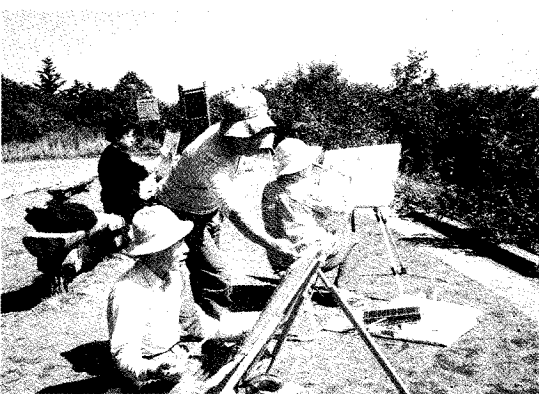
私達泉会第二部は、一年間の教養講座を終えた後も、お茶のおけいこを続けていきたいと思う仲間が集まり、先生に引き続き教えていただいております。

皆それぞれに仕事を持ちながらも、季節折々の草花を生け、お菓子と一服のお茶をおいしくいただいて楽しんでます。

時にはお茶会などに皆で連れ立って出掛けては、すばらしい茶道具にふれたり、普段の生活と少し違ったところに身を置いて、和気あいあいと、その中にも緊張感の漂うクラブです。

日常生活の中で、ごく自然に茶の湯とかかわって、楽しみながら続けていきたいと思っております。

私達の絵画教室は、松崎先生を開む二十代から七十代と巾広い二十五名の大きなクラスで広い教室も一杯になります。今年も七名の新人を迎えましたが、先輩、後輩の区別なく楽しみながら画用紙に向かって張り切っています。先生はいつも、「お年寄りやをいたわり、あせらず、気長に、きれいな絵ではなく美しい絵を描きなさい。」とおっしゃいます。そのせいでクラスはいつも和やかで雑談を交えながらの授業はお昼を忘れるほど熱中します。しかし先生、先輩達のテーマの絞り方、筆捌き、色の使い方等毎回が勉強になり、教室の日は朝から緊張もいたします。まだ先生には甘えっぱなしですが、いつの日か先輩達のように自分の色が持てるようになりたいと願っております。



絵画教室 水島皓二

# わたしの愛する東部町



上田市 松崎 功

上田市に住んでいると、まわりが山で、穴の底にいる様な圧迫感を覚えます。東部町に來ると、南に御牧原の台地と蓼科山、東に佐久の平と視野が開けて、ほっとしてゆったりした気分になります。人間は、その環境によって大きく影響を受け、その性格さえも変えています。東部町の人々が、純朴で正直であり、佐久的な気質を持っているのも、この浅麓と似た地形の中から生まれて来たものと思われれます。

滋野にいた頃、高峯から三方、烏帽子の山系を、毎年十数回は歩き廻りました。荒らされていない自然、そして変化のある眺望、何よりも豊かな動植物に魅せられてしまいました。こんな身近に、誰でも気軽に登れる山のあることに気がつかなかったのです。現在、キャンプ場、スキー場が出来る、だいたい開発はされましたが、まだまだ人の手の入っていない自然が、この山系には多く残っています。東部の人々が、地形や土質を生かして、クルミから果樹へ、そして今どうの特産地として、新しい東部町を産み出している様に、研究し、開発との調和の上で、この山系の自然を、もっと町起こしの目玉として利用し、合わせて残された植物の宝庫を町ぐるみで守ってほしいと思っています。

東部町の皆様には毎日、大変お世話になって居ります。

東部町の文化の中心地、中央公民館には、今日も車のとめる所に苦勞するほど、皆さんが集まり、それぞれの勉強に励まれ、中に入ると、活気に満ちた明るい笑顔、笑顔。東部町の文化協会は、私がお世話になりました十三年前には、すでに確立されていて、今日充実の一途をたどっています。現在国をあげて、生涯教育の重要性がさげばれておりますが、東部町は、他町村にさきがけて、その先進地といって過言ではありません。そんな陰に、文化協会長さんは自分から多数のクラブに入会され、直接生徒さん達の心を肌で感じて文化協会を運営されています。そして町当局のすぐれた先見性とその努力に対し敬意を表します。

そんな東部町に今年三月には文化の殿堂、すばらしい文化会館が出来上がりました。私の会も来年八月、そこを使わせていただくのを楽しみにしております。

東部町は今、めざましい経済の発展へ変貌をとげています。その活力で文化協会も、増々御発展されます様、お祈り致します。



北御牧村 依田 千祥



上田市 山口 春香

東部町は、町全体が南斜面の地形と自然環境に恵まれた素晴らしい町だと思います。

行政においても町民の誇りである文化会館をはじめ、下水道工事も着々と進み「のどかな住み良い町」だと思います。

社会教育においては近隣の市町村に先がけ生涯学習に取り組まれ、豊かな住みよい町づくり」を町民の手で推進することを町民によって採択されました。

また公民館においては、日本一と言っても過言でない充実した活動がなされ、国からも表彰されました。尚、県庁へ公民館の視察を依頼すれば一番先に「東部町中央公民館」と紹介される素晴らしい公民館です。

文化活動にも多種の講座が開講され、多くの町民が受講し地域社会の活性化と住民の輪が広がり、よりよい生涯教育の原点となつていられると思われれます。町民の方々は、学習熱心で特に高齢者大学の皆様には頭が下ががる思いでございます。これからもよい勉強をさせて頂き、出会いを大切にして皆様と輪を広げて参りたいと思っております。

冬季オリンピックをひかえ、これからは高速道、新幹線と激動の時代に突入されますが自然を大切に、文化の町東部町が環境に恵まれた「住みよい町づくり」のできることを期待して居ります。

## お知らせ

文化協会加入の各団体がそれぞれに勉強してきた一年間の成果を、次の予定で発表します。町民の多くの皆さんが、ご来場くださいますようお願いしております。

◎ 教養講座発表会 二月一日(土)

〆日(日) (AM 9 〆 PM 5) 町中央公民館

◎ 東部町美術会展覧会 二月二十三日(日)

〆二十六日(水) (AM 9 〆 PM 5) 文化会館

◎ 民謡発表会 二月二十三日(日)

(AM 10 〆 PM 4) 文化会館

◎ 舞踏発表会 三月一日(日)

(AM 10 〆 PM 4) 文化会館

\*各グループの責任者が変更になった時や会名変更の場合は、必ず事務局社会教育係まで連絡してください。

~~~~~

## 編集を終えて

今年、東部町に念願の文化会館がオープンした記念すべき年です。

本日ここに、発足以来十六年にわたつた地域の底辺づくりを援助してまいりました文化協会だより「せせらぎ」第八号ができました。

町民に生涯学習意欲が高まる中で、座談会や文化会館特集を組み、その情報源の提供に力を入れました。

紙面に制限があり、加えて力不足のため思うように編集できませんでした。編集にあたりご協力いただきました多くの皆様にご心よ

- 丸山 光夫 寺島 武郎  
 白鳥 正志 山浦いく子  
 小林 清枝 井沢志津江  
 小泉 芳子 川上 貞子